

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 479 事業名 緑化審議会事務事業

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	6	都市景観の形成
施策	1	都市緑化・都市美化の推進
基本方針	1	公共施設や民有地の緑化推進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	平成 年度	～ 平成 年度
事業実施の根拠法令	和歌山市緑を守る条例	
関連個別計画	和歌山市都市計画マスタープラン、緑の基本計画	
担当課・担当課長 (Tel)	都市計画課	米澤 範和(435-1228)
関連課	企画課、公園緑地課、都市整備課	

【事業基本情報】

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	土木費	
	項	都市計画費	
	目	都市計画総務費	
	大事業	都市計画総務事業	
事項	緑化審議会事務事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	事業の促進と緑化の保全を図る事によって快適都市和歌山を実現することに寄与する。	緑化審議会に関する事務、緑化推進に関する調査、緑の基本計画の進行管理				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		緑化審議会運営及び緑化推進に関する調査、緑の基本計画進行管理	緑化審議会運営及び緑化推進に関する調査、緑の基本計画進行管理	緑化審議会運営及び緑化推進に関する調査	緑化審議会運営及び緑化推進に関する調査、緑の基本計画進行管理	緑化審議会運営及び緑化推進に関する調査、緑の基本計画進行管理

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	235	0	235		235		235		235	
	伸び率 (%)	-		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	1,042	1,053	1,053		1,053		1,053		1,053
		非常勤職員									
		小計	1,042	1,053	1,053		1,053		1,053		1,053
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源(税等)	235	0	235		235		235		235	
	所要人数	常勤職員	0.14	0.14	0.14		0.14		0.14		0.14
非常勤職員											
主な予算内訳	附属機関委員報酬 182千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	緑化審議会の開催回数				年度目標値	2	2	3	3	2
					実績値	0				
	単位	回	全体目標値	12	全体目標達成度	0.0%	年度別達成度	0.0%		
					年度目標値					
					実績値					
成果指標	緑の基本計画進行管理報告(都市公園等の目標水準)				年度目標値	20.03	20.415	20.8	20.8	20.8
					実績値	14.07				
	単位	m ² /人	全体目標値	H27 20.8m ² /人	全体目標達成度	67.6%	年度別達成度	70.2%		
					年度目標値					
					実績値					
	単位	回	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	緑化審議会は、緑地の保全及び緑化の推進に関する事項を調査、審議するものであるため、必要に応じ開催する。
「見直し」 「改善」案	和歌山市緑化審議会規則で定めていた緑化審議会の組織及び運営方法を和歌山市緑を守る条例で規定した。